

# 注 意 報

長崎県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察 注意報第7号(継続)

## いちご ハダニ類(ナミハダニ、カンザウハダニ)

1. 発生地域(対象地域) 県下全域

2. 発生程度 やや多

3. 注意報発令の根拠

- (1) 2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は6.1%(平年5.3%)、発生圃場率は44.4%(平年27.4%)であり、1月上旬に比べ寄生株率、発生圃場率ともに減少したが、依然として平年よりやや多かった(図)。
- (2) 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、今後の気象条件によっては、発生量が増加する恐れがある。

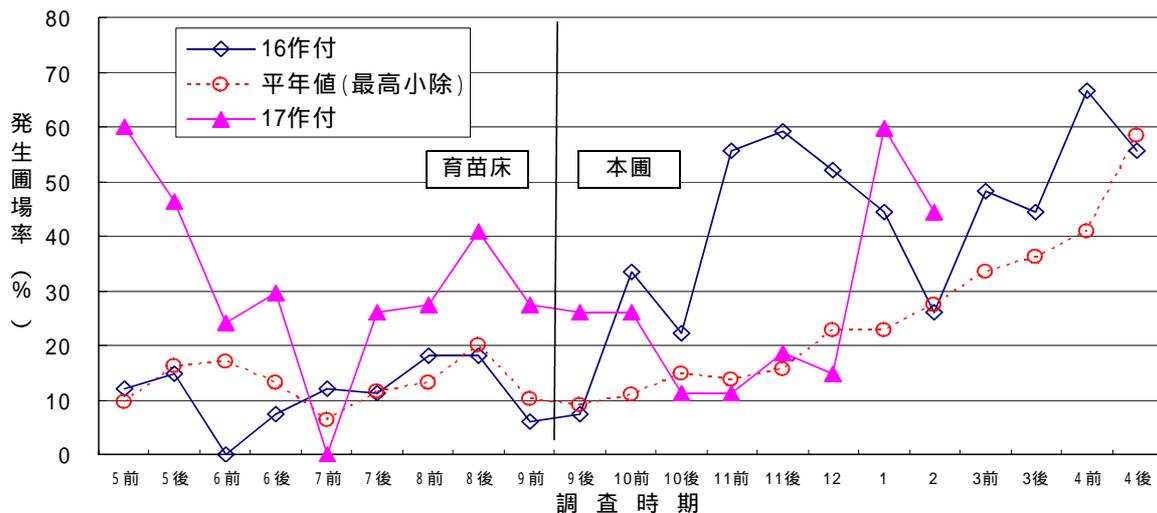


図 ハダニ類発生圃場率の推移(巡回調査)

4. 防除法等

- (1) 発生初期の防除を徹底する。
- (2) 薬剤散布は下葉かき等、古葉の整理を行い、散布むらがおこらないように、十分量を丁寧に散布する(薬剤は県病害虫防除基準参照)。
- (3) 薬剤感受性が低下しやすいので、同一薬剤は連用しない。
- (4) 薬剤によってはミツバチへの影響があるので、薬剤の選定に注意する。
- (5) 天敵(チリカブリダニ等)は、県病害虫防除基準等の使用マニュアルを参考に、特性に応じた使い方をする。